

言葉の持つ力を考える

昔から、「日本は言霊(ことだま)の力によって、幸せがもたらされる国」といわれてきたそうです。

言霊(ことだま)とは、言葉が持つとされる霊力のことです。声に出した言葉は現実を引き起こす事柄に影響すると信じられ、良い言葉を発すると良いことが起こり、不吉な言葉を発すると良くないことが起こるといわれています。今から1300年ほど前の奈良時代のお話です。



それから1250年ほどたった私の子ども時代にも、雑な言葉を使えば、親や先生によくしかられたものです。そもそも子どもの話す単語は家族や友達との会話でよく使われるものであり、そこに学校で習ったり、興味のある本から得たりした言葉が少しずつ加わっていきました。テレビは一家に一台で、見るのは家族で一緒。それでも当時の自分にとっては十分な情報量だった気がします。

最近の子ども達を見ていると、難しい言葉を知っているなあと感心することがよくあります。

ここ50年で、社会の情報量はものすごい勢いで増え続け、機器も多様化して、大人子ども関わらず、興味関心のある情報を容易に受け取れるようになりました。ですので先生顔負けの物知り博士がいろいろな場面で活躍したりもします。素晴らしいことです。(虫博士、歴史博士、漢字博士…)

ただ大人に干渉されないところでも情報がやり取りできるようになり、良好な人間関係を築くのに不適切な言葉を使ったとしても、正されないままのこともあるようです。悪い言葉ばかりを使っているうちに自分では気にもせず、誰かを傷つけているかもしれません。声に出して伝える言葉、文字にして届ける言葉、どちらも受け取る側の気持ちを考えて発することができれば、自分も相手も幸せにすることができるのではないのでしょうか。

私自身、いくつになっても「もっと違う言い方があったのではないか」と、発した言葉を振り返り、思うことがよくあります。

自分の言葉に魂を宿らせるにはまだまだ修行が必要のようです。

学校教育目標

人とのかかわりを大切にし ささえあえる子どもを育てる

★ご来校いただきありがとうございます

11月には個人面談にお越しいただきありがとうございました。また、11月末から今月はじめにかけては、授業参観と懇談会が行われています。お子様が学校でどのように過ごしてるのか、担任からお伝えする様子、実際の授業風景からわかる様子、いろいろな姿を見ていただけたでしょうか。ご家庭と学校で情報を共有することで、子どもたちのより良い成長につなげていけたらと思っております。お忙しい中ご都合をつけていただき、また分散参観へのご協力もいただきありがとうございました。

★「主体性をもって取り組む子の育成をめざして」

これは、本校の教員が授業研究をする上で大切に行っているテーマです。子どもたちは「めあて」をもち学習に向かい、授業の終わりには「ふりかえり」をします。先生たちは普段から学年で日々の授業について相談をしています。先月はお互いの授業を参観できる機会が多くありました。他校の研究発表も3年ぶりに行われ、良い刺激を受けました。子どもたちの生き生きと活動する様子を見たり、同じ指導案で授業を行い意見交換をする先生たちの様子を見たりすると、関わりの中で大人も子どもも成長することを感じます。

12月の主な行事予定		
1	木	4年授業参観・懇談会
2	金	委員会活動⑧図書
3	土	
4	日	
5	月	FLT 図書
6	火	6年授業参観懇談会 SC FLT 4年ベルマレ小学校体育巡回授業(3・4校時)
7	水	5年授業参観・懇談会 FLT 交通安全教室(1・3年)
8	木	鑑賞教室 SC FLT PC 図書
9	金	クラブ活動⑥ 火災避難訓練 SC FLT
10	土	
11	日	
12	月	火災避難訓練予備日 FLT 図書
13	火	SC
14	水	PC
15	木	5年お箏教室
16	金	5年お箏教室 図書
17	土	
18	日	
19	月	PC 図書
20	火	給食終了 SC 図書
21	水	
22	木	
23	金	2学期終業式 SC
24	土	
25	日	冬季休業(～1月9日)
26	月	
27	火	仕事納め
28	水	学校業務停止日(12月28日、1月4日)
29	木	
30	金	
31	土	
1/10(火)3学期始業式		
1/12(木)給食開始		

おおだこ通信 令和4年12月 通訳 児童 生活安全課 児童少年部 スクールサポーター

～自分がされてイヤなこと友達だって一緒だよ～

あなたのまわりに「いじめ」られている人や「いじめ」をしている人はいませんか。「いじめ」を受けている人は、大変つらく、悲しい思いをしています。苦しいけれど我慢しています。友達をからかうことも「いじめ」につながります。

「いじめ」はひきょうで、恥ずかしい行為です。決して許されることはありません。「いじめ」をなくすためには、みんなが相手のことを思いやる、やさしい心を持つことが大切です。

もし、あなたが「いじめ」られていたら、一人で我慢したり、悩まないで、勇気を持って、おうちの人や先生に相談しましょう。

みんなで考えてみてください

- もし「いじめ」られているのが自分だったら？
- だれかが「いじめ」られているのを見つけたら、あなたは どうする？
- 「いじめ」をなくすために、先生やクラスみんなは どうしたら よいですか？

悲しくなることをされたら誰だって嫌だよ。お友達の気持ちになってよく考えてみましょう。

毎月15日は、児童・こどものための「林檎の日」
一人でも多くお菓子を (津波女性地域安全推進員)

